

自然と親しもう

生物観察コース

コンセプトポイント



1 権現ダム

昭和57年3月、加古川工業用水の安定供給を目的として建設された。第1ダムから第3ダムまで3ヶ所のダムがあり、ダム湖周辺は「加古川右岸自転車道」としてサイクリングロードとして整備され、穏やかな水面や沿道の草花、豊かな緑のなかに広がる壮大なダム湖を楽しむことができる。

チェックポイント トンボやカモ、サギなど、昆虫や野鳥が数多く生息している。



2 権現池総合公園キャンプ場

平成17年、権現湖畔にオープンしたキャンプ場。フリーキャンプとオートキャンプが利用でき、水道やかまどのある炊事棟も整備されている。豊かな水と緑を満喫できるキャンプ場として、多くの人々に人気がある。また、キャンプ場から自転車道コースに出たり、裏の山へ登ることもできる。

チェックポイント チョウやトンボなどの昆虫や、メジロやカワセミなどの野鳥も観察できる。



3 権現池観察広場

現在は閉園している権現ダムの湖畔公園（こはんこうえん）に隣接して、平成7年に加古川市が整備し完成させた広場。東屋（あずまや）を始め、野外用丸テーブルに椅子が置かれ、小高い観察場も用意されている。権現池は自然の状態をなるべくそのままに整備されているため、動植物の種類が豊富で、それらの動植物を観察することができる。

チェックポイント カモ類、バン、ゴイサギ、シギ類やトンボ、チョウなどが観察できる。



4 平荘湖

昭和41年に東播磨工業地帯の工業用水の安定供給を目的として建設されたダムによってできた人造湖。周辺には、豊かな自然が残りの、四季折々のさまざまな表情を見せる。また冬には、多くの渡り鳥が訪れ、少年自然の家前に設けられた観察小屋からは、その生態を観察できる。

チェックポイント カモ類やコバクチョウなどの水鳥が観察できる。

加古川には、たくさんの種類の生物が生息し、豊かな自然とふれあうことができます。街中では目にすることが少ないトンボや、季節ごとによってくる渡り鳥たち。自然に囲まれて散歩しながら、加古川の生物たちを観察しときにふれあってみてはいかがでしょうか。



【凡例】

- モデルコース (約23.0km)
- 1~4 コンセプトポイント
- A~D よりみちポイント
- トイレ
- 喫茶 レストラン
- 自販 自転車
- P

©That's & Trial 2010
0 100m 200m 300m 400m 500m